FIM 評価・経過記録表

評価内容を確認しながら、2時点の変化を記録

氏名／ID：_____　年齢：_____歳　診断名：_____

①評価日：____年____月____日 評価者：_____　②評価日：____年____月____日 評価者：_____

分類	評価項目	①点	①コメント	②点	②コメント	評価する内容
セルフケア	食事					口へ運ぶ動作から、咀嚼・嚥下まで。
	整容					口腔ケア・洗顔・手洗い・整髪・髭／化粧。
	清拭					首から下の洗体と乾燥。頭部・背中を除く。
	更衣（上半身）					普段の上衣の着脱と、必要な装具の扱い。
	更衣（下半身）					下着・ズボン・靴下・靴などの着脱。
	トイレ動作					衣服を下げる・陰部を拭く・衣服を上げる。
排泄管理	排尿管理					排尿の管理介助、器具・薬、失敗の頻度。
	排便管理					排便の管理介助、処置・薬、失敗の頻度。
移乗	ベッド・椅子・車椅子					乗り移りの往復。関連する起居動作も確認。
	トイレ					便器に座る・便器から離れる動作。
	浴槽・シャワー					浴槽の出入り、またはシャワー椅子への移乗。
移動	歩行・車椅子					移動距離と介助。合計には1項目として算入。
	階段					昇り・降りの段数と必要な介助。
認知	理解					話・文字・身振りなどから内容を受け取る。
	表出					話・文字・身振りなどで意思を伝える。
	社会的交流					他者との関わりを適切に保つための支援。
	問題解決					生活上の判断、安全への対応、援助要請。
	記憶					人の認識、日課、依頼されたことの保持。
	運動小計（13〜91点）					
	認知小計（5〜35点）					
	総点（18〜126点）					

移動手段 ①_____ ②_____　補助具：_____　総点の変化（②−①）：_____点

独自編集の記録補助資料。公式評価票ではありません。採点は正規マニュアル・施設の運用と照合してください。

FIM 採点基準・判断例

01｜セルフケア・移乗：1〜7点の基本

7 完全自立	補助具・他者の援助なし。安全に通常の時間で完了。
6 修正自立	他者の援助なし。補助具・時間延長・安全性の配慮あり。
5 監視・準備	身体介助なし。見守り・促し・物品の準備が必要。
4 最小介助	本人が75%以上。身体を支える接触介助も含む。
3 中等度介助	本人が50%以上75%未満を行う。
2 最大介助	本人が25%以上50%未満を行う。
1 全介助	本人が25%未満。移乗等で2人介助が必要な場合も1点。

判断例
食事：自助具で自立＝6／ふたを開けてもらうだけ＝5。
清拭：10部位のうち3部位を自分で行う＝2。
トイレ動作：下げる・拭く・上げるのうち、2つ自力＝3、1つ自力＝2。
移乗：手すりで自立＝6／車椅子の準備のみ介助＝5。
整容は各動作の本人実施割合を平均。更衣は着脱全体を評価。

02｜認知：援助なしで行える割合・内容を確認

7＝援助なしで適切に遂行。6＝時間や補助手段等を要するが、他者の援助は不要。理解・表出・問題解決は複雑な内容も確認。
5以下は基本的な内容・日常課題について判定する。
5：90%超 4：75%以上90%以下 3：50%以上75%未満
2：25%以上50%未満 1：25%未満
例：基本的な意思伝達が半分は援助なし＝3。
社会的交流の5点には、ストレス時等の監視も含む。

03｜移動・階段：距離／段数＋介助量で判定

歩行・車椅子：50m以上の場合
7＝補助具なし歩行自立／6＝杖等・車椅子で自立／5＝監視・準備／4＝本人75%以上／3＝本人50%以上75%未満。
2＝15m以上を本人25%以上で移動（上記に届かない）。
1＝15m未満、本人25%未満、または2人介助。
15m以上50m未満を人の援助なく移動＝5。車椅子は最高6。
階段：12〜14段の昇降で7〜3点は同様の介助基準
4〜6段だけ自立＝5。2＝4段以上を本人25%以上で昇降（上記に届かない）。1＝4段未満、本人25%未満、または2人介助。

04｜排尿・排便：下記①と②の低い点を採用

① 衣服・寝具を汚すなどの「失敗」の頻度
なし＝7または6／月1回未満＝5／月1回以上・週1回未満＝4／週1回以上・毎日未満＝3／毎日＝2。
② 管理に必要な介助
薬・器具なしで自立＝7／器具等を自己管理＝6／準備・廃棄だけ介助＝5。
排尿の間欠的な処置介助：週1回以下＝5／週2〜6回＝4。毎日なら自力回数が介助より多い＝4、同程度＝3、少ない＝2、毎回介助＝1（準備だけの介助とは区別）。
具体例・特例
おむつを自分で交換＝6／交換は介助だが依頼できる＝2／依頼もできず全介助＝1。
排便のたびに摘便が全介助＝1（排便が数日ごとでも同じ）。
坐薬のみ：自己挿入で月2回以下＝7、週1回程度＝6。挿入介助で月2回以下＝5、隔日・毎日＝4。
毎日の失敗だけで1点にしない。衣服操作・陰部清拭はトイレ動作で評価する。

実生活で評価。日内変動は低い状況を確認。未確認は推測しない。安全上実施できない場合や特殊な例外は正規マニュアルで確認。

参考：島根県益田保健所「FIMによる評価マニュアル」、川崎医科大学・旭川医科大学 FIM講習会Q&A（説明は独自に要約）。